

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

学校名 広島大学附属中学校

種目	発行者	採 択 理 由
国 語	三省堂	<p>今回の改訂の特徴は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の全社とも、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、「学び方」を学んだり、「話す・書く・読む・聞く」力を偏りなくつけたりすることが主眼となっていることである。中でも三省堂は、「読み方を学ぼう」という項目で読みの方略 22 種類を、3 年間で段階的に配置し、読む際だけでなく、日常の様々な場面でも活用できる構成になっており、かなり具体的である。また言語テキストにとどまらない多様なテキストの導入（図表、データ、広告などの実用文など）もされており、大学入学共通テストの改正を見越している点も特徴である。</p> <p>中学校の国語教科書で求められることは、刻々と移り変わる現代社会、多様な情報が行き交う中で正しい情報を見極め、自ら思考できる力が要求される。そのため、三省堂がその観点においては群をぬいたものであった。</p> <p>どの会社も、定番の教材である中1「少年の日の思い出」（ヘルマン・ヘッセ）、中2「走れメロス」（太宰治）、中3「故郷」（魯迅）は採録されている。古典も、竹取物語、故事成語、枕草子、徒然草、漢詩、奥の細道は共通している。それ以外の教材を見ると、いろいろなジャンルの優れたものが数多く採録されていることが求められる。中でも、三省堂は「読書の広場」も合わせると多くの教材が取り上げられている。現代的な問題を取り扱った作品だけでなく、近代文豪の名文など多様な種類の文章が採用されている。芥川龍之介「トロッコ」、夏目漱石「坊っちゃん」、島崎藤村「初恋」など明治期の文語文も取り上げられ、現代語・現代文とのつながりも重視されている。また、「話す・書く」活動として、スピーチ、レポート、プレゼンテーション、グループ新聞、手紙・メール、ポスターなど多彩なものが用意されている。また、読書活動の一環としてブッククラブ、ビブリオバトル、ブックトークなども導入されている。</p> <p>こうした検討をふまえて、三省堂の教科書が現代文、伝統的な言語文化それぞれにおいて、バランスよく教材を取り上げていて、多くの活動も設定されており、本校中学生の実態に即した教科書であると判断し、採択した。</p>
書 写	三省堂	<p>書写の学習は、書写技能を単純に修得することだけではなく、自分の字をよりよくし文字文化への認識を深め、日常生活・社会生活に生きる力を主体的に学習できることが望ましい。</p> <p>まず本教科書は、毛筆教材として楷書3種類、行書7種類、計10種類に分けて教材を設定されており、特に行書の漢字の毛筆教材においては、特徴を細かく分けた学習になっている。行書は中学生にとって初めて学習する書体であるため、行書の基礎的な書き方が細かく設定されていることは理解しやすく望ましいと考える。</p> <p>また、書写の基礎を限られた時間の中でも無理なく過不足なく学習できる分量となっており、各教材には学習目標や具体的な書き方のポイントが示してある。これにより生徒は学習目標を確かめ、学び方となる「どこに気をつけて、どのように書けばよいか」を理解することで主体的に取り組むことができる。</p> <p>さらに、毛筆教材のあとに「書いて身につけよう」という硬筆による書き込みのページが豊富にある。毛筆の学習は、硬筆による書写の能力の基礎を養うことをふまえ、毛筆で習得した内容を硬筆の</p>

		<p>文字に活用する流れになっており、学びを確かなものにする事ができると考えられる。硬筆による書き込みが豊富にある点では光村図書も同じだが、硬筆教材が別冊として取り外せるようにひとまとまりになっており、学習内容を本編と硬筆練習帳で随時相互参照しながら活用しなければならず、つながりを理解して取り組まなければならない。また、毛筆教材も多く、限られた時間の中で学習をするためには教材選択をする必要が出てくる。</p> <p>本教科書にある「学びを広げる」という内容には、文字の成り立ちや文字に関わる仕事に就いて活躍している人を取り上げ、文字の歴史や文字文化への理解だけでなく職業観も養えるように工夫されている。</p> <p>文字の大きさや書体、配色などにも工夫が見られ、読みやすく学びやすいレイアウトになっている。特に書体については独自の書体が使われており、平仮名の濁点の位置も手書きに近いものであるため、生徒が目につれる活字においても整った形を認識できると考えられる。</p> <p>以上の理由から本書を採択することにした。</p>
<p>社会 (地理的分野)</p>	<p>帝国</p>	<p>以下のように比較検討した結果、帝国書院の教科書を採択した。</p> <p>○帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」 世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述が詳細である。統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけを充実させることができる。章末の構成が復習に活用しやすい。</p> <p>○東京書籍「新しい社会 地理」 世界や日本の諸地域について、地域的特色に関心を持たせるような写真、トピック、および本文記述が多い。統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけが可能である。</p> <p>○教育出版「中学社会 地理 地域に学ぶ」 世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述がかなり詳細である。統計やグラフについては、高校の教科書や中学地図帳との関連づけがある程度可能である。</p> <p>○日本文教出版「中学社会 地理的分野」 世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述が詳細である。統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけが強い。</p>
<p>社会 (歴史的分野)</p>	<p>帝国</p>	<p>東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、育鵬社の6冊を検討した。内容の検討から、帝国書院を採択することにした。</p> <p>その理由としては、第1に、各時代ごとに「タイムトラベル」という名称の大きな図版が掲載されていることである。現行の学習指導要領においては、各時代ごとの学習の最初に「時代の導入」、最後に「時代を大観」させることになっている。各時代への興味付けをし、学習課題を意識化させた上で、各時代の政治・経済・社会・文化の知識を習得させ、そののちにその知識を活用して各時代の特色を自分の言葉で的確に表現させる学習を行うようになった。その際に見開き2ページ近くの図版は大いに有効である。また、各時代の「タイムトラベル」を比較・分類・関連付けさせることによって、「時代の転換」の学習がスムーズに実施できるものとなっている。</p> <p>第2に、積極的に時代を読み取らせる話題や指示が多く、生徒の学習意欲を引き立たせる記述となっている。新しい学説を紹介し、歴史の見方が多様であることを理解させようとしていることも、重要な点である。また、前近代の女性史、近代の人権問題、戦争の歴史にも積極的に紙幅を割いており、社会科としての歴史学習が重視されている。</p>

		<p>第3に、写真、表、史料などの選択と表示方法に工夫があり、生徒に読み取りやすくなっていることが挙げられる。各単元で主要な考察に出される資料は大きく、その他はコンパクトにと、はっきりと差異をつけてあるので、主題をはっきりと捉えさせ、ポイントを絞った学習方法を取らせやすい。また、写真・資料に添えられている多くの子どもの疑問点のイラストは、生徒の歴史的思考力を成長させるものになっている。</p> <p>以上より、帝国書院の「社会科 中学生の歴史」を採択した。</p>
社会 (公民的分野)	日文	<p>本教科書と、教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」、東京書籍「新しい社会 公民」、育鵬社「最新新しいみんなの公民」、自由社「新しい公民教科書」、帝国書院「社会科 中学生の公民」を候補として比較検討し選考を行った。</p> <p>本教科書を採択した理由は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社と比較して情報量が十分に多く、なおかつその表現や論理の組み立て方が専門的な知識をふまえより深い内容に接続しやすいものになっていること。 ・資料の選択、グラフの配置等が的確で必要十分であること。特に専門書等で扱われた資料等が効果的に配置されていること。 ・専門的な理論を正確かつコンパクトに説明してあるなど、主体的・協働的で深い学びや、本校授業のめざす、概念的な知識や「見方・考え方」を活用できる力を育成する授業を行う場合に適した教科書であること。
地図	帝国	<p>下記のように比較検討した結果、帝国書院の教科書(地図)を採択した。</p> <p>○帝国書院「中学校社会科地図」 地図表記が詳細かつ適切である。地域区分が適切であり、大都市圏や世界遺産の詳細な地図も充実している。主題図の量や、そこに含まれる情報量が大きい。</p> <p>○東京書籍「新しい社会科地図」 地図表記が詳細かつ適切である。地域区分が適切である。主題図の量や、そこに含まれる情報量が他社に比べやや少ない。</p>
数学	学図	<p>これからの教科教育においては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの視点での資質・能力の育成が求められる。そこでは、何ができ何が分かるようになるのかというだけでなく、どのように学ぶのかといった「学びの方法」についても焦点が当てられる。問題解決活動の中で、問題を見い出したり、他者との相互作用によって自らの考え方を精緻化したりする活動、そして自らの学びをふり返ってより良い学びへとつなげていく学習場面が重要となる。基礎・基本の充実をしっかりと図り、数学的な見方・考え方を適切に働かせて自らが学びを深めていくような学習者の育成こそが教科教育に求められるものである。加えて、高等学校との接続も視野に入れ、自ら探究的に学びを深めていく能力の育成も重要である。</p> <p>これらの点から、本校の教育目標や進路選択等の生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動から数学的な性質に注目し、丁寧な考察を経て結論を得る流れが適切であること。 ・基本から応用まで、練習問題の分量・レベルが適切であること。 ・生徒が自ら探究し発展させていけるような題材が適切な分量・レベルで準備されていること。 ・高等学校や他の分野とのつながりを持った発展的な題材が適切な分量・レベルで配置されていること。 ・数学を学ぶ方法についてクローズアップしてあり、働かせる数学

		<p>的な見方・考え方の確認や振り返りの場面が明確に位置付けてあること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの活動や、自分の意見を説明したりする場面が適切に位置付けてあること。
理 科	啓林館	<p>小学校および高等学校との学習内容の系統性を重視した構成となっている。単元(章)ごとに小学校の学習内容が「つながる学び」として示されており、生徒が既習の内容を想起した上で中学校での学習に臨むことができるような構成となっている。また、高等学校の各科目に関連する発展的内容も「高校〇〇へ」という項目で丁寧に扱われており、小学校から中学校そして高等学校へと系統的かつ学問的な広がりをもった学習が可能になっている。</p> <p>基礎・基本が大切にされた丁寧な記述に加え、観察・実験の設定が豊富で記述も的確であり、生徒自身が記述を参考に観察・実験を行いやすく、また教員の安全指導も行いやすい。このことから、生徒が安全、確実に観察・実験を行い、科学的に思考し、判断し、表現することが容易な構成になっていると考える。また、観察・実験の重要事項や数値の処理方法など、実際に探究活動を行う際の要点は「サイエンス資料」としてまとめられており、整理・確認が行いやすくなっている。</p> <p>新学習指導要領において重視される探究の過程については、教科書の冒頭において丁寧に説明されており、「課題の把握」「課題の追究」「課題の解決」の3つのステップで学習を進めるよう促されている。また、この3つのステップは単元(章)ごとにも示されており、学習の進行に伴って探究的な学習を進めることができる構成になっている。さらに、探究的な学習に主体的に取り組む活動として、単元ごとに「探 Q 実験」が設定されており、生徒が自身の学びを「探 Q シート」によって振り返り、丁寧に探究活動に取り組めるような手立てが用意されている。</p> <p>本校では併設の高等学校が SSH に指定されており、全生徒が課題研究に取り組むカリキュラムとなっている。探究の過程においた本書の構成は、高等学校での課題研究の取り組みの素地を作るものであると考える。</p>
音 楽 (一般)	教出	<p>育成すべき資質・能力の3つの柱に沿って構成されている。全体に、教材ごとに学習内容が精選されている。具体的には、各教材(楽曲)を構成する音楽の要素(形式、構成、音色、リズム、強弱、テクスチャ、旋律、速度)に基づいて、重点的に学習すべき内容が精選され、それが<学びのユニット>として位置づけられている。学びのユニットは、学習を発展させ次の学びにつなげ深めることを意図している。</p> <p>以下、歌唱、鑑賞、創作の項目別に、本教科書の特徴を挙げる。</p> <p><歌唱></p> <p>各教材で、関連して学習すべき内容が明記されている。新出の音楽用語は、わかりやすくレイアウトされている。英語の歌では、対訳が添えてありわかりやすい。</p> <p><鑑賞></p> <p>オペラでは、登場人物の関係図をわかりやすくイラストで説明してある。オペラと歌舞伎を、ポイントごとに比較して記述する欄が設けられているのが良い。</p> <p><創作></p> <p>「CM ソングをつくろう」という題材は、生徒の興味をひく工夫がなされている。</p> <p><その他></p> <p>音楽史について、西洋音楽史と日本の音楽史を合わせて年表にま</p>

		とめているのがわかりやすい。コンピュータと音楽や、アウトリーチ、音楽療法についても説明しており、生徒たちの視野を広げるものとして興味深い。
音楽 (器楽合奏)	教出	<ol style="list-style-type: none"> 1. リコーダーのサミングの方法について、従来は1つの方法のみ記載されていたが、他の方法も提示しており、指導の実態を踏まえた記述になっている。 2. 尺八、篠笛、三味線などの奏法について、わかりやすく丁寧に解説しており、初心者にも取り組みやすい。 3. ギターと箏、三味線を比較するページがあり、音の出る仕組みや奏法や音色に着目して違いを考え記述する欄がある。単に演奏するだけでなく音楽的思考を促すための配慮がなされている。 4. リコーダーの楽譜で、「ふるさと」や「もみじ」など、歌として親しまれている曲については歌詞が音符の下についており、フレーズを意識して奏法を工夫して演奏するための配慮がなされている。
美術	日文	<p>採択の候補となるのは、日本文教出版(日文)、光村図書(光村)、開隆堂の3社である。各社とも共同制作や他者と関わりながら進める活動を取り上げており、自然と対話が行われる題材が掲載されている。「造形的な視点」も重視されており、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させる工夫がなされている。鑑賞作品に関しては3社とも原寸サイズでの作品を掲載しており、日文と光村は見開きで大きく扱っており迫力がある。</p> <p>現行の教科書との大きな違いは各社QRコードを掲載し、インターネットを活用することで用具の安全な使い方の動画や立体作品を周囲から見られるような工夫がされている点である。作品だけでなく美術館へリンクしているなど各社とも工夫がみられる。</p> <p>第1学年においては、色彩に関する学習が重要である。3社とも巻末に色彩に関するページを配しており、日文と光村は折り込みページの開いた部分に色相環の図を設けている。この色相環のページを開いておくことで他の題材を学習する際、色彩学習の視点を生かせるという方式は大変便利である。</p> <p>光村は題材毎に生徒の制作過程が順を追って示されている。風神雷神図においては俵屋宗達の作品をメインに酒井抱一や尾形光琳の作品を掲載し、三十三間堂の風神雷神彫刻も掲載、多様な比較鑑賞が可能な工夫がされている。開隆堂は、両観音開きの左右に池田学とダミアン・ハーストの作品を掲載し、対比できる工夫がされており、「絵や彫刻で学ぶこと」「デザインや工芸で学ぶこと」など学習のねらいもわかりやすく示されている。</p> <p>アイデアスケッチを含めた生徒作品掲載数は日文210、光村117、開隆堂141で圧倒的に日文が多い。生徒作品は作品制作において発想の糸口を広げ、手がかりが掴みやすい。また、日文のページ構成は原寸、生徒作品、見開きなど強調・強弱など変化があり原寸大の土器は息を呑む迫力である。制作手順や技法について本校では別途副読本を使用しているということもあり総合的に判断した場合、本校にとっては日文の教科書が最適であると考えた。</p>
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容がバランスよく配当されている。 ・写真やイラストをうまく用いて図を作成してあるので学習内容の理解に効果的であり、中学生が興味・関心をもつような工夫が多くなされている。 ・「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る・深める」で各章が構成されており、自らの学びを深めるための課題の設定や学んだ知識を活用する道筋が提示されているので主体的な学習に効果的である。

		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図などが効果的に多く掲載されている。 特に身近な問題や今日的话题, 新しい健康問題についてよく取り上げてあり, 学習した知識を生活と結び付けて思考し, 実践しやすいものとなっている。 ・「発展」と題して, 教科書で必ず学習しなければならない内容以外の興味深い部分に触れていて, 中学生の興味を引くものとなっているので学習の深まりが期待できる。 ・写真や図の内容に最新の情報が反映されている。また, パラスポーツにも触れており, 幅広く取り上げている。 ・「がん教育」「SDGs」も発展的特集資料等を掲載し, 主体的な学習に繋げられるよう工夫がなされている。 <p>以上の点を含め, 総合的に判断して採択した。</p>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<p>(1) 基礎・基本の定着</p> <p>①生活や社会の中にある技術と見方・考え方に気づく活動, ②①をもとに問題を解決する活動, ③学習を振り返って見方・考え方を定着させる活動が各学習項目において整理されており, 学習の目的や目標を意識づけできるようになっている。</p> <p>(2) 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>問題解決の流れを共通化し, ガイダンス内容時から示されていることで, 同じ流れの実習が展開できるようになっており, 学習者が深い学びを実践する環境を整えやすくなっている。企業でのものづくりの様子や技術の評価・活用が明確であり, 学習者が学習と実社会でのものづくりの仕組みをリンクさせやすくなっている。</p> <p>(3) 内容の構成・配列・分量</p> <p>限られた学習時間で取り組める内容が示されており, 図解ページも多いため学習者が予習・復習できるページ構成になっている。学習項目でのページ構成や文字・写真の配列が統一されていることにより, 学習者が読みやすいと考えられる。また, 安全意識を高めるための折り込みが付加されており, 技術分野の実習に不可欠な安全の要素を的確に確認できるようになっている。</p> <p>(4) 内容の表現・表記</p> <p>学習することがひと目でわかるマーク類が統一されているほか, 導入課題や目標が明示されていることにより, 学習者が内容を理解しやすい表現・表記となっている。また, 単に知識を詰め込んだものではなく, 「どうして?」と刺激する小課題や実験を通した科学的な学習の機会についても配慮されている。</p> <p>(5) 言語活動の充実</p> <p>色覚に特徴のある生徒に配慮されたカラーユニバーサルデザインのほか, ルビ・フォントについても読みやすい工夫がされている。また, 学習時間に配慮した適切なページ数で構成されており, 教科書として適切な重量についても考えられていることから, 自宅での学習にも配慮されている。また, QRコードによるコンテンツも充実していることから, 文字を読むのが苦手な生徒など課題のある学習者に対しての画像・動画や音声による資料による学力保障が期待できる</p>
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<p>(1) 基礎・基本の定着</p> <p>学習への興味・関心, 疑問を大切にし, 課題に自ら取り組み自らの言葉でふり返って生活に係る見方・考え方を定着させる活動が, 5つの学習のまとまりにおいて整理されている。</p> <p>(2) 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>学習のまとまりごとに見通しをもち生活の中から課題を見つけられるように本文の記述や課題が配置されている。また, アクティブラーニングを多数取り入れるなど生徒自らの考えを広げて深め</p>

		<p>られるような仕組みになっている。</p> <p>(3) 内容の構成・配列・分量 限られた学習時間で取り組める内容である。家庭分野の3つの内容が空間軸と時間軸で整理されており、わかりやすい記述となっている。</p> <p>(4) 内容の表現・表記 学習のまとめりごとに返りや生活にいかそうの欄が設けられている。課題を解決するための手がかりや内容理解を助ける科学的な資料が、効果的な表現や分量、大きさで書かれている。</p> <p>(5) 言語活動の充実 色覚に特徴のある生徒に配慮されたカラーユニバーサルデザインである。また、ルビ・フォントについても読みやすい工夫がされている。QRコードの記載など、学習に効果的なコンテンツの提供があり、文字を読むのが苦手な生徒など課題のある学習者に対しての画像・動画や音声による資料による学力保障が期待できる。</p>
英 語	光村	<p>扱われている題材や英文難易度の適切性を考慮して3候補(三省堂 NEW CROWN, 開隆堂 SUNSHINE, 光村図書 Here We Go!)に絞り、その中から Here We Go! に決定した。</p> <p>1. 題材・英文の適切さ 本文については、登場人物がさまざまな経験をしながら成長する様子が、3年間を通して一貫した物語となっており、意味のある文脈の中で新しい言葉を学ぶことができる。防災など生活上の課題も自然に物語に取り入れられていて、現実世界との接点が保たれている。このことは、コミュニケーションの目的・場面・状況を意識した言語活動という今次の学習指導要領改訂で特に要請されている点にまさに対応しており、新課程での英語指導を進めるのにふさわしいと判断した。</p> <p>小学校との接続も意識されており、現実味のある場面で、生徒が実際に使えそうな英表現に多く触れることができる。また、場面が実際であるために、定型的な応答を超えてディスコースを構成するやり取りも多く、より高度な言語使用を導くことができる。</p> <p>2. 誌面構成の適切さなど 課の冒頭に絵や写真だけを見て英語を聞き取るページがあり、音声を中心とした英語学習が促される。本文部分は、基本的に左ページに英文、右ページに活動と区分けが明確なシンプルな構成になっているので、1冊の本としてリズムが保たれている。また、授業展開に応じて柔軟に活用する余地もある。イラストについては、単なる挿絵ではなく、登場人物の表情が豊かで、1枚の絵であってもストーリーが感じられる。巻末にイラストを活用した Story Retelling というコーナーが設けられているのは、優れたイラストを活用する適切な方法であり、ここから活動を発展させる余地もある。</p> <p>また、帯活動用の教材が本冊に組み込まれているので、継続的な言語活動を実施するのが容易である。各課の言語活動も工夫されており、単なるドリルで終わらない言語活動を仕組むことができるようになっている。</p> <p>色使いが全体的に淡く、視覚に優しいのも好ましい。</p>
道 徳	東書	<p>本校の教育目標や学校生活などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択した。</p> <p>(1) 教科の基礎・基本 各学年で22の内容項目全てををれなく扱い、重点項目は複数時間をかけて学習できるよう構成されている。さまざまな題材の教材が用意されており、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を育め</p>

	<p>るよう配慮してある。</p> <p>特に、「いじめ」や「いのち」などの大切な項目はユニットを組むことで、集中して学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(2) 主体的な学習</p> <p>全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起してから教材に入るという流れになっている。また、漫画の1～2コマを伴う教材では、導入の問題提起のための話し合い活動がより活発になるように設定されている。2時間扱いの問題解決的な学習を配置し、問題提起から解決を図る流れの中で、道徳的価値について考えることができるよう工夫されている。グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」として配置し、体験的な学習（役割演技）ができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 内容の選択・構成・分量</p> <p>各学年の教科書が、オリエンテーション、本編、付録の3つで構成されている。オリエンテーションで道徳の基本的な流れを学習し、本編にスムーズに入れるよう配慮してある。また、付録で補充を図れるよう複数の教材が収録されている。さらに、さまざまな題材の教材を用意することで、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を育めるように配慮してある。</p> <p>(4) 表現・表記</p> <p>中学生にとって難しい表現は避けて、なるべく分かりやすい表現が用いられている。また、各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるよう配慮してある。</p>
--	---

※ 「発行者」欄は、教科書目録による略称。